

2021 年度 大学行政管理学会 研究会・研究グループ活動 報告書

研究会等名称 (設置地区)	女子大学研究会
活動目的	<p>少子化が進む昨今、受験生の女子大離れが加速し、「女子大学」或いは「女子教育」の意義が厳しく問われています。女子大学研究会は、日本における女子教育の変遷からその使命の原点を探り、女性を取り巻く現状及びその問題点を分析して、今後の女子大学、女子教育のあり方を探求します。</p>
参加資格・条件	<p>会員、非会員の別は問いません。共学大学の方も大歓迎です。</p>
<p>活動状況</p> <p>①開催ペース (毎月1回、第何曜日など)</p> <p>②主たる開催場所</p> <p>③主な活動経過</p> <p>④現在の活動状況・研究テーマ等</p>	<p>① 開催回数 年1～2回(通常、土曜日の午後開催)</p> <p>② 開催場所 原則として、各地区の女子大学で開催</p> <p>③ 活動経過 本研究会は、2008年10月に発足。これまで、他の研究会との合同開催を含め、以下17回の研究会を開催しました。</p> <p>第1回「女子大学の自己像と女子大学を取り巻く環境の変化」 第2回「女子大学の歴史」 第3回「女性のリーダーシップ育成」 第4回「女子大学の事務組織」 第5回「女子大学の生き残りをかけた財務戦略」 第6回「女子大学における教育の役割と今後」 第7回「21世紀的ニーズに応える女子大学をめざして」 第8回「大学における女子教育と女性管理職からの学生支援」 第9回「女子大学における学習支援」 第10回「女性職員エンパワメント」 第11回「女子大学(女子学生)のラーニングアウトカムについて考える」 第12回「グローバル化した21世紀をリードする女性の育成」 第13回「女子大学のこれまでとこれから～女子大学における学修支援を中心に～」 第14回「女性の役割と女子大学の使命—ネットワークとチームワーク—」 第15回「学習支援に求められる教職員の能力と育成を考える」 第16回「LGBTからSOGIへ～多用な性のあり方を理解し、学生対応を大学教職員として考える」 第17回「20年後に向けた女子大学の将来像」</p> <p>④ 現在の活動状況・研究テーマ等 女子大学研究会として取り組むべき分野・テーマを、(1)日本の女子大学の歴史、(2)現代の女子大学、(3)海外の女子大学(アメリカを中心)に分類して研究しています。 加えて、男女共同参画社会を推進するため、大学行政管理学会における女性職員の活動支援にも取り組み、2019年7月には「大学における女性職員の活用アンケート」を実施。2019年度の定期総会・研究集会において分科会を企画・開催し、昨年度の学会誌にアンケート結果を掲載しました。 なお、2020年度は、コロナ禍により研究会活動を中止しました。</p>
その他	<p>女子大学研究会では、上記活動を推進するための会員を募集しています。</p>